

化学物質による環境影響評価

研究内容

安全安心な生活を送る、人の健康を損なわない、生態系を保全するためには化学物質のリスクや環境影響に関する情報・知見が必要です。当研究室では、日常生活の中で人や環境に影響を与える化学物質の測定・分析やデータ解析を行い、その動きや傾向を分析し、影響を評価する研究を行っています。

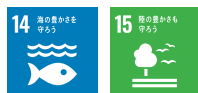
主なテーマ

- 有害化学物質の曝露シナリオに基づく曝露解析とリスク評価
- 環境影響評価手法に基づいた環境測定・分析

地域・産学連携の可能性

大気・水質・粉じん等の環境測定・分析方法に関する助言、環境測定を行う際の現場での測定条件デザインへの助言、各種機関からの情報収集方法に関する助言が可能です。

このテーマに関連するSDGs開発目標



動物公園前沿道の大気環境測定



キャンパス内喫煙室の粉じん測定



有害物質の機器分析



工学部 環境応用化学科 環境化学、環境測定分析

内田 美穂 UCHIDA Miho

教授、博士（工学）

[URL](https://www.ace.tohtech.ac.jp/Laboratory/lab_hp/uchida/index.html) https://www.ace.tohtech.ac.jp/Laboratory/lab_hp/uchida/index.html



執筆論文

論文名：微小粒子状物質の個人曝露量に及ぼす生活環境・行動様式の影響評価、内田美穂、公衆衛生情報みやぎ，2019年8月号，No.495，pp.23-29.



KeyWord

環境測定分析、曝露解析、環境影響評価